

豊川用水の持続的な利用に向けた取り組みは

大規模地震対策など
追加工事の実施に向けて取り組んでいる

一問一答方式



古川 美栄 議員
自民クラブ

農業基盤の整備促進について

- 問** 豊川用水の持続的な利用に向けた取り組みは。
- 答** 老朽化を受け、継続的な施設の維持・更新をするため豊川用水2期事業が実施されている。また、東日本大震災を踏まえた大規模地震対策などの追加工事を予定しており、円滑な実施に向けて取り組む。
- 問** 新たな工事の事業費と事業量は。
- 答** 事業費は706億円、事業量はトンネルの補強等で5km、断水回避のための分散併水路の新設41km。
- 問** 事業の完成年度は。
- 答** 新たな工事の追加に伴い、事業期間を15年間延長し、平成42年度の完了を目指している。
- 問** 地元農家の負担はどの程度か。
- 答** 施設が被災した場合の二次災害を防ぐ耐震対策工事であるため、地元農家の負担は求めない予定。

- 問** 今後の整備は農業基盤整備だけでなく、農村集落及び農業施設の環境整備にも重点を置くとされているが具体的には。
- 答** 国の補助を受け、道路、排水路、防災施設など地域の多様なニーズに応じた整備を実施している。
- 問** 未舗装道路もあるが、市内道路の舗装率は。
- 答** 道路総延長約1,727km、舗装延長は約1,437kmとなり、舗装率83%である。
- 問** 農村地域での舗装の新設を進めるべきでは。
- 答** 今後も総合的に事業内容を検討し、土地改良区と調整を図りながら整備を進めていきたい。



豊川用水を貯水する初立池



活性化が期待される伊良湖岬

- 問** 伊良湖岬周辺の観光基盤整備の方向性について。
- 答** 「恋をテーマとするイメージづくりの強化」「散策ルートやサイクリングコースの充実」「漁港の活用」等、ハード・ソフトの両面から伊良湖岬のブランドイメージ向上に結び付く整備を行っていく。
- 問** サーフィンの活用について。
- 答** サーフィンのまちとしてのイメージ戦略、プロモーションを展開し、将来的には定住につなげたい。
- 問** 観光振興に対する平成28年度予算への市長の意気込みは。
- 答** 観光の一大拠点である伊良湖岬周辺の活性化は、どうしても必要。様々な立場の方と相談し、活性化を進めていきたい。